



琉通ロジスティクス  
総合研究所

2023年度  
第一期  
第1回ロジスティクス人材育成研修報告書

日 時:2023年10月4日(水曜日)

会 場:アイムユニバースてだこホール

## 目次

- 1、プログラム・・・・・・・・・・ 2P
- 2、活動報告書・・・・・・・・・・ 3P- 6P

# プログラム

No	時間	分	プログラム	担当者
1	9:30~9:35	5	オリエンテーション	事務局
2	9:35~9:40	5	研修生自己紹介	研修生
3	9:40~9:45	5	開講訓示	兼次理事
4	9:45~10:00	15	講義及びグループワーク説明	雨宮講師
5	10:00~13:30	210	グループワーク(*お昼時間含む)	研修生
6	13:30~13:45	15	休憩 (作成資料をUSBに格納し事務局へ)	事務局
7	13:45~14:00	15	作戦タイム	研修生
No	時間	分	プレゼンテーション	担当者
8	14:00~14:05	5	質疑応答の方法説明	事務局
9	14:05~14:10	5	Aチーム発表	Aチーム
10	14:10~14:30	20	BチームがAチームへ質疑	A,Bチーム
11	14:30~14:35	5	Bチーム発表	Bチーム
12	14:35~14:55	20	AチームがBチームへ質疑	A,Bチーム
13	14:55~15:00	5	C、DチームがA、Bチームへ感想	C,Dチーム
14	15:00~15:05	5	講評	宮城理事
15	15:05~15:10	5	休憩	
16	15:10~15:15	5	Cチーム発表	Cチーム
17	15:15~15:35	20	DチームからCチームへ質疑	C,Dチーム
18	15:35~15:40	5	Dチーム発表	Dチーム
19	15:40~16:00	20	CチームがDチームへ質疑	C,Dチーム
20	16:00~16:05	5	A、BチームがC、Dチームへ感想	A,Bチーム
21	16:05~16:10	5	講評	宮城理事
22	16:10~16:25	15	総評	雨宮講師
23	16:25~16:30	5	総括	新垣代表理事

1	Aチーム	吉田 真寿	與儀 菜々子	多和田 真吾	国吉 史丸
		産経運輸 次長	琉通国際部 係長	琉通運輸部 主任	琉通物流C 主任
2	Bチーム	東江 清和	島袋 貴弘	砂川 孝史	本永 一貴
		リウスイ 部長	琉通総務部 主任	大丸自動車 社長	琉通航空営業 主任
3	Cチーム	比嘉 博斗	郭 施昱	有馬 浩平	下森 毬生
		琉通輸送部 課長	琉通営業部 主任	琉通CVS事業 課長	大丸自動車 一般職
4	Dチーム	兼城 忍	新垣 颯	石橋 龍	大里 智美
		産経運輸 部長	琉通営業部 一般職	リウスイ 主任	琉通経理部 係長

# 参加者名簿 活動報告

## 2023年度 第一期 第1回ロジスティクス人材育成研修会 活動報告書

日時・会場	2023年10月4日(水)09:30-16:30 浦添市アイムユニバース てだこホール マルチメディア室
出席理事	琉通ロジスティクス総合研究所:新垣代表理事、兼次理事、宮城理事、下地理事
出席研修生 16名	琉球通運株式会社:有馬浩平、比嘉博人、大里智美、與儀菜々子、多和田真吾、国吉史丸、島袋貴弘、郭施昱 (9名)
(敬称略)	株式会社琉球通運航空:本永一貴(1名)
別添資料2 参照	株式会社産経運輸:兼城忍、吉田真寿(2名) 株式会社リウスイ:東江清和、石橋龍(2名) 大丸自動車株式会社:砂川孝史、下森毬毛(2名)
関連聴講者 5名 (順不同)	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 商務通商課:宮平勉課長補佐、仲里健也様 株式会社リウスイ:田港朝昭専務取締役 琉球物流株式会社:佐久川博室長 那覇地域貨物運送協同組合:仲宗根睦事務局
講師	雨宮路男(株式会社エム・ロード・エキスパート)
事務局	琉通ロジスティクス総研:仲泊さつき、琉球通運:宮城信一郎、(サポート)鈴木智博、金城勝江
研修テーマ	「沖縄・ロジスティクス問題の事例研究及び課題解決について」
研修題材	国土交通省・農林水産省・週刊東洋経済より抜粋の日本における物流事例(111ページ事前予習)
研修内容	チームに分かれグループワーク(210分)後、チームによるプレゼンテーション(5分)
別紙	研修で使用したワークシートは別紙添付資料を参照ください。

### 兼次理事より開講訓示

琉通総研は今年8月4日に新垣会長を筆頭に琉球通運グループ企業の理事6名によって設立されました。事業内容は5つあり、県内物流関連事業の調査、公民連携の推進(PPP)、物流施設開発の企画・調査・コンサルティング、物流関連の広報・出版活動、人材育成活動です。研修生の皆さんには物流の課題を乗り越えるためにこの研修を十分に生かしてほしい。我々理事がサポートするので、グループ内の事業発展の為に頑張ってください、そして皆さんの力で次の世代を育成していただきたい。



研修生による自己紹介

講義の様子



10:00～グループワーク(210) 各チームテーマを決め4人で相談しながらワークシートを埋めていきます。



各チームの改善施策名

A チーム(與儀さん、吉田さん、多和田さん、国吉さん)  
改善施策名:「物流の枠を超え、生産・販売・他業種  
と一体となって発展」



B チーム(砂川さん、東江さん、島袋さん、本永さん)  
改善施策名:「労働生産性の改善」



C チーム(郭さん、比嘉さん、有馬さん、下森さん)  
改善施策名:「物流倉庫におけるデジタル化」



D チーム(石橋さん、大里さん、新垣さん、兼城さん)  
改善施策名「入社したくなるような会社」





14:00～プレゼンテーション開始プレゼン(5分)、質疑応答(20分)質問と返答を30秒でそれぞれ行います。



質疑応答の様子。Aチーム(左)Bチーム(右)



Aチーム(国吉さん、多和田さん、吉田さん、與儀さん)



Bチーム(砂川さん、本永さん、島袋さん、東江さん)



質疑応答の様子。Cチーム(左)Dチーム(右)



Cチーム(下森さん、有馬さん、比嘉さん、郭さん)



Dチーム(石橋さん、大里さん、新垣さん、兼城さん)

### 宮城理事より4チームのプレゼンテーション、質疑応答への講評

B チームに分があった。重要政策が明確で理解がしやすかった。A チームはブランクが多く課題からの流れがわかりづらかった。優劣はつけづらいがD チームに分があった。C チームはブランクが目立った。共通してワークシートが記入されていること、重要政策を明確にすること、時間配分、質問者・回答者の役割分担とチーム内の情報の共有、そしてリーダーの役割が大切であることを認識してもらいたい。非常に難しいワークシートで皆さん苦勞したと思います。チームに共通することは30秒という短い時間で質問と回答を明確に行う訓練が必要です。



### 兩宮講師より総評

表紙のタイトルのように何を伝えるのかを明確にするのは大切である。課題記事の日本の物流問題を沖縄に置き換えてわが身として考え、その課題から4人で合意してまとめることがディスカッションの大事なポイントである。そして課題の中にあつた難しい物流用語を調べて覚えてほしい。30秒で商談のやり取りするのはビジネスマンとして必要なスキルである為、それを体得する為に次回はディベートの訓練を行う。



### 新垣代表理事より総括

皆さま、お疲れ様でした。8月4日に設立した、琉通ロジスティクス総合研究所の設立記念事業として、沖縄の物流業界のリーダーを養成する人材育成研修会を実施いたしました。皆様、いかがでしたでしょうか。物流・ロジスティクスを担う皆さんは、「労働集団ではなく頭脳集団でなければならない」を合言葉に日々自己研鑽していかなければならないと思っています。今回の研修ポイントは、各チームにベテランから新人までを構成し、物流の未来における課題と今、実際におかれた課題を重ね合わせ、解決策を見出し、プレゼンテーションし、専門的に質疑応答するといったものでした。情報が氾濫する時代、データはたくさん集めれば集まるほど良いのですが、収集に時間がかかるのであれば、もはや「アウトプット」から逆算したほうが、ユニークな発想や鋭い思考を生み出すことができるかもしれない。それには「ストーリー性」が重要である。例えば、倉庫業務にも入庫・出庫依頼やピッキングリストの通達など、アウトプット(伝える)が重要視される場面が数多くある。その作業にストーリーがあって仕組みが生まれる。引き続き、物流業界を担う頭脳集団としてスキルや知識を向上し活躍していただきたい。



第1期生(15名)、琉通ロジスティクス総合研究所理事(6名)、田港専務、事務局(4名)総勢26名の記念撮影